

直売所「林檎の森」

直売所 二上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。ご利用ください。

お盆は法界折やお墓参りへ持つて行く果物、お菓子、切り花を買い求めるお客様で大変賑わっていました。

そのほか、先月上旬から入荷していた嶽きみも出荷のピークが終りました。

また、メロン、スイカ、嶽きみの発送では、北は北海道から南は九州まで幅広く全国的に発送注文がたくさんありました。

そのほか、店頭には徐々にリンゴのつがるやきおう等が並び、特産果樹ではブドウや桃が出荷されています。また、野菜の棚には馴染みの少ないカボチャのよつな形をしたズッキーニが稀に入荷し、物珍しさから購入していた方もいました。

収穫作業や着色管理作業が本格的に始まり、忙しい日々が続きます。

ですが、休憩時間に直売所で新発売となった「オレンジシフォンケーキ」はいかがでしょう。あつさりとした生クリームとクリーミーな味、ふんわりとした生地で美味しさと共に癒されると思います。

そして、会員の皆様にも願いがあります。野菜、果物など毎日出荷してくださり大変ありがたいのですが、新しい野菜、果物が多くなると出荷日の古いものは売れ残ってしまうやすく、日付が経つことで鮮度も落ちてきます。そこで、出荷する際は自分で出荷したものが残っていないか確認をお願い致します。これからリンゴや果物が特に多くなってくるので品質管理へのご協力をお願いします。

※引き取りしないなど青果物の腐敗などがある場合はこちらで処分する場合がありますのでご了承ください。



新発売「オレンジシフォンケーキ」



カボチャと思いきやズッキーニ

夏野菜が大活躍

当直売所では、上記にもあるようにズッキーニ等の夏野菜が種類豊富に入荷しています。夏野菜はトマトやトウモロコシ、キュウリなど色が濃いものが多く、色が濃い夏野菜は夏の紫外線から身を守ると、ビタミンCやEを豊富に含んでいます。これらの栄養素には抗酸化作用があり、体内の活性酸素を除去してくれる働きがあります。活性酸素が増えすぎると生活習慣病やがんなどの病気を引き起こす恐れがある為、夏野菜を食べて健康な体を維持しましょう。



色豊富な夏野菜がお客さんを引き付ける

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



毎日の農作業お疲れ様です。
8月の果実動向は、夏果実を中心に数量減の単価高で推移しました。

スイカについては、猛暑が続いたことからカット売りの消費が伸び、量販店の荷動きは活発で、高値基調での推移となりました。

桃については、他県産地の少なから売場の縮小が進んでいますが、中秋節向け輸出の引き合いが強いことに加え、流通量の少なから高値基調の販売が続いています。

梨については、雨の影響による収穫遅れから総体量が少なく、高値での販売が続いていましたが、これまでの高値から荷動きは鈍化傾向となりました。

りんごについては、本県産の晩生種やNZ産の仲卸在庫が多く低調に推移する中、長野県産早生種がスタートし、シナノリップについては着色・食味等から引き合いは強く、高値基調での販売となり

ました。サンつがるについても、堅調なスタートとなりましたが、潤沢な入荷となるにつれてヤケヤ色薄等下位等級品比率の高さから積極的な売場の切り替えは図られておらず、品揃え程度の売場に留まり、下げ基調での展開となりました。よって、企画販売は本県産から本格的に組み込まれることとなります。

本県産のきおうについては、香港の中秋節需要により、強保合いでのスタートとなり、8月中旬に70%ほど出荷終了しています。

産地市場については、昨年が最高値でスタートしたことから65%ほどの単価で推移しています。当JAでは8月末より本格的な出荷となり、順調に販売されています。特に川中島白桃については堅調価格となっております。

今後、サンつがるの販売がピークとなりますが、各産地が出揃ったところで日々下げ基調となりことが予想されますので、品質と小

売価格を見極めながら企画販売に取り組み、中生種、晩生種へ有利販売につとめますので、今後ともご利用の程よろしくお願いいたします。

単価は全農あおもりデータ（8/31累計）

| 品 種 | サンつがる | きおう | その他 | 合 計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 単 価 (円) | 3,263 | 3,035 | 2,464 | 2,878 |
| 前 年 比 (%) | 79 | 79 | 61 | 73 |



「つがる」の出荷に向けて選果と荷造りが進められる

いきいき女性部通信

事務局 桑田歩



女性部では8月19日に夏期研修会を行いました。

まずは、西目屋村にある「道の駅 津軽白神 ビーチにしめや」に隣接する「味な工房」にて、そば打ち体験を行いました。

体験では、北早生そば粉を使用し、そば粉を混ぜる作業からスタートしました。

そば打ち体験の最大の魅力であるそば切り体験では、あえて太く切り弾力や風味を感じても良いとアドバイスを受け、きしめんの様なそばも完成していました。

完成した物を見ると予想以上に多く、「こつたにか(食) いねー」と言いながらも全員が「弾力があつて風味もよくておいしい」と完食し、道の駅で大人気の白神はちみつソフトも食べていました。

それではそば打ち体験の様子をご覧ください。

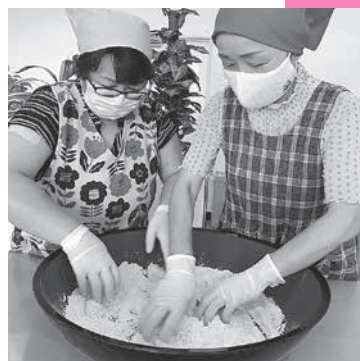
そば打ちの様子



③切るのが難しく、細麺、太麺になりながら丁寧に切る。



②棒を使って平らに大きく伸ばします。



①そば粉と強力粉をしっかり混ぜ合わせ、1つの塊になるまでひたすら混ぜる。



自分で作ったそばは格別な美味さ



直ぐに茹でて食べました。



④お手製そばの完成

そば打ち体験の後は、海を眺めに鱈ヶ沢へ移動し、道の駅「わんど」に到着。コーヒー屋さんで一服し、海鮮物を購入したり、それぞれ楽しんでいました。そしてほとんど海を見ることなく次に、森田の道の駅、鶴田の道の駅など道の駅巡りをしながらその地域自慢の農産物を買って求めました。

このご時世であちこちへ出かけることが出来ない部員が多く、今回の道の駅を巡りを大変楽しんでいました。また、そば打ち体験も「また冬にでももう一度やりたい」と言う声も聞こえ、有意義な研修になったと感じています。

仲間と楽しい会話をしながら行われた夏期研修は当初はコロナウイルス感染拡大の為に中止と断りましたが、「昨年何もしないから何かをやりたい」という思いで急遽行われた夏期研修でした。少人数で密をさけての移動やソーシャルディスタンスを保ちながらリスクを減らして行う事ができ、良かったと思います。

所員 千葉翔平



いつも湯口SSSをご利用いただき誠にありがとうございます。また、平素から携行缶ガソリンの販売記録にご理解、ご協力いただきご利用のお客様には感謝を申し上げます。

先日行われた洗車祭り（7月3日から8月29日の毎週金曜日・日曜日）は天候にも左右されましたが、7月の洗車の売り上げは去年より1.2倍ほど増え、宣伝効果で洗車をするお客様が増えて満足して頂けるイベントとなったと思います。洗車をする事で車を長く乗ることが出来る事や、愛車の異変に気付くことが出来る等の意識を利用客に伝えていき、来年はさらに集客できるように、頑張ります。

10月は「東北限定JA-SSSで当てようキャンペーン」を開催する予定です。こちらはガソリン、軽油、灯油を2500円以上当SSSで給油し、当キャンペーン専用はがきにレシートを貼り、ご応募していただくと豪華景品が抽選で

当たるキャンペーンです。詳細は決まっておりますが、決まり次第当SSSに掲示してお知らせしますので、お見逃しのないようにお願いいたします。

また、d払いのポイント還元キャンペーンも実施予定です。こちらも詳細は店頭に掲示しております。

組合員の皆様にお願ひがあります。最近給油カードの紛失が多発しております。特に掛売のカード（営業・貯金）は他人に悪用される可能性が高いです。また紛失されますと、再発行料550円が発生します。管理には十分にご注意ください。紛失した際はなるべく早く当SSS従業員にお申し出ください。

最後になりますが、燃料油が高騰している時期が継続しており先行きがなかなか見えません。当SSSは利用客になるべく安くご提供できるように頑張っています。これからも

ご利用をどうぞよろしく願ひします。

ガソリン価格高騰の背景

ゴールデンウィーク頃から価格が高騰しているレギュラーガソリンをはじめとする燃料ですが、背景には原油の値上げがあります。

コロナ禍によりガソリンの需要は減退し、生産量を減らしてしまいましたが、ワクチン接種等の進展により燃料の需要が回復してきました。しかし、原油の生産体制は未だに変わらないことが原因のひとつとなっております。

今後、利用者の皆様には満足してご利用いただけるよう対応していきたいと思います。



高騰を続ける燃料の価格

10月 イベント情報

- 毎週木曜日は**特売日!!**
- 第2・第4火曜日は**ポイント3倍デー!!**
- 10日・20日・30日は**店頭での灯油販売特売日!!**

ポイントをためて景品をゲット



○りんご作業（9/15～10/15）

管内のりんごの肥大は、9月1日の調査でふじが74.6ミリと昨年と同じくらいの生育となっております。

今後の台風の発生に嚴重な警戒が必要です。防風網や支柱などを

点検し、気象情報には十分注意して下さい。

●除袋時の注意

除袋の際はりんごの果面焼けをさせないために次のような注意が必要です。

- ・一般的な二重袋では、まず外袋をはぎ、果実の色が黄色みがかつた時、あるいは薄い縞が入った時に内袋をはいで下さい。
- ・一発袋をはぐ場合には、曇天か晴天の日中（10時～14時）に行ってください。

また、外袋をはぐタイミングで果実に付着している葉を摘み取るようにしましょう。これは着色ムラをなくし、ハマキムシ類の被害を予防する場合にも有効です。

●被害を拡大させないために

黒星病・炭そ病等の被害果は、被害拡大を防ぐためにも、見つけ次第摘み取り、土中に埋めるなど適切な処理をしましょう。

果実に発生する疫病は、降雨時の収穫等によって、果実に泥が付着することで、冷蔵庫内や出荷先にて発病することから、降雨時の収穫の際にはできるだけ果実に泥を付着させないように収穫カゴの底にネットを敷き、収穫カゴを直接地面に置かないなどの工夫が必要となります。落下した果実を収穫果に混ぜたり、泥のついた手袋などでは果実に触らないようにしましょう。

●農作業事故には十分注意を

これからの時期は、夕暮れが早く農作業も忙しくなります。機械の取り扱いや、ハシゴの上り下りをする際は十分注意し、事故やケガのないように農作業を行いましょ。

管内のりんご肥大状況（9月1日調査）

| | 湯 口 | 紙漕沢 | 相 馬 | 平 均 | 平年比 |
|-----|------|------|------|------|--------|
| 王 林 | 77.1 | 72.1 | 74.8 | 74.7 | 102.8% |
| ふ じ | 76.7 | 79.2 | 78.3 | 74.6 | 104.7% |
| つがる | 84.3 | 82.8 | 82.6 | 83.2 | 101.2% |

※単位は（mm）平年比は過去10年間の値

2021年 農作物防除記録の回収について

※共同防除（共防連加入）の場合は一部記入が不要です。（りんごに限る）

※共同防除の場合は、代表者、構成員で記入が異なります。注意して記入下さる様お願い致します。

10月上旬に、職員が今年度の「防除記録」の回収に伺います。9月上旬に配布された記入例を参考に、「誓約書」と併せて必ず提出くださるようお願い致します。また、注意点もありますので、記入漏れがないようお願い致します。

なお、「農作業記録簿」等については12月上旬に回収にいたします。